



## 2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 7325 URL <https://www.irrc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝本 竜二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 戸谷 元彦 TEL (03)5840-9551  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第1四半期の連結業績（2019年7月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	973	14.1	108	△7.0	109	13.0	66	9.9
2019年6月期第1四半期	853	—	116	—	97	—	60	—

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 66百万円 (9.9%) 2019年6月期第1四半期 60百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	7.76	7.65
2019年6月期第1四半期	8.68	8.39

(注) 1. 2018年6月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、2018年9月25日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2019年6月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から2019年6月期第1四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

3. 当社は、2018年7月10日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を、また2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	3,697	3,243	87.7
2019年6月期	4,032	3,348	83.0

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 3,242百万円 2019年6月期 3,347百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,002	13.8	258	15.3	260	29.1	163	33.9	19.10
通期	4,191	8.3	631	12.1	635	16.3	400	22.3	46.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期1Q	8,538,000株	2019年6月期	8,538,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	156株	2019年6月期	156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期1Q	8,537,844株	2019年6月期1Q	6,946,348株

（注）当社は、2018年7月10日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を、また2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題を巡る緊張の増大や海外経済の動向と政策に関する不確実性に留意する点があるものの、個人消費の持ち直しや設備投資を中心に緩やかな回復基調にあります。

このような外部環境の下、当社は、「人と保険の未来をつなぐ～Fintech Innovation～」という企業テーマを掲げ、独自開発した保険分析・検索システム『保険IQシステム』、生命保険の現状把握・検索提案システム『ASシステム』及び保険申込ナビゲーションシステム『AS-BOX』を活用し、店舗網及びシステムユーザーを拡大する事で、保険分析・販売支援におけるプラットフォームとしての事業展開を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における売上高につきましては、保険販売事業における直営店部門とソリューション事業におけるAS部門が牽引したことにより順調に推移しました。一方、販売費及び一般管理費につきましては、知名度向上を目的としたテレビコマーシャルを放映したことにより、一時的に増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高973,648千円(前年同期比14.1%増)、営業利益108,476千円(同7.0%減)、経常利益109,621千円(同13.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益66,261千円(同9.9%増)となりました。

なお、営業利益が前年同期比でマイナスになっている一方で経常利益以下がプラスになっている要因は、前年同期に計上されていた上場関連費用の影響によるものです。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ・保険販売事業

直営店部門は、新たに1店舗出店した他、セブンパークアリオ柏店と柏店を統合したことにより、店舗数は前期末から変動せず38店舗となりました。当第1四半期連結累計期間の施策として、①テレビCMの実施、②Webの活用による効率的な広告宣伝活動の展開、③直営店における各種イベント、④積極的な人材採用、⑤OJTによる研修を実施しました。以上の施策が奏功したため、成約率及び年払い比率が順調に推移し、売上を伸ばしました。

法人営業部門は、税制改正に伴う一部法人向け保険商品の販売停止が行われた影響から売上は前年同期に比べて大きく減少したものの、それに伴う売上原価の減少により、利益に与える影響は抑えられました。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は655,018千円(前年同期比9.2%増)、セグメント利益は161,223千円(同0.9%減)となりました。

#### ・ソリューション事業

FC部門は、9月末のFC店舗数が160店となりました。同部門では、今までの専業代理店に加え、保険業界への参入を目指す他業界の企業をターゲットとした新規リクルート活動を強化しております。その他の施策としては、①既存代理店への追加出店の提案、②各FC店に対する継続した店舗運営の指導、③全国の代理店経営者を集めた会議における研修や意見交換を実施しました。

AS部門は、大手保険会社の大型導入や地方銀行の導入により、システム販売を中心に順調に推移しており、今後も全国規模の金融機関や大手保険会社、地方銀行・企業系代理店による新規導入の増加が見込まれ、引き続き当社の成長ドライバーとして期待される分野となっております。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は284,379千円(前年同期比24.3%増)、セグメント利益は91,479千円(同22.1%増)となりました。

#### ・システム事業

子会社である株式会社インフォディオは、当社グループにより開発された「スマートOCR」への引き合いが多く、この事業も当社の成長ドライバーとして期待される分野となっております。

「スマートOCR」とは、AI(人工知能)を搭載し、ディープラーニング技術(深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ)を活用した、非定型帳票対応の次世代型光学的文字認識システムです。

しかしながら、スマートOCR関連の性能向上を目的とした先行投資・費用が発生したため、一時的に利益率が低下しました。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は34,250千円(前年同期比36.5%増)、セグメント損失は17,223千円(前年同期実績3,520千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,655,214千円となり、前連結会計年度末に比べ444,549千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が513,833千円減少したことによるものであります。固定資産は1,042,776千円となり、前連結会計年度末に比べ110,282千円増加いたしました。これは主にその他の投資その他の資産が98,796千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,697,991千円となり、前連結会計年度末に比べ334,266千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は446,606千円となり、前連結会計年度末に比べ227,213千円減少いたしました。これは主に未払金が30,500千円、未払法人税等が187,727千円、役員賞与引当金が36,638千円減少したことによるものであります。固定負債は7,817千円となり、前連結会計年度末に比べ2,558千円減少いたしました。これは主にその他の固定負債が2,413千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、454,423千円となり、前連結会計年度末に比べ229,771千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,243,567千円となり、前連結会計年度末に比べ104,495千円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が104,495千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は87.7%（前連結会計年度末は83.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年8月14日の「2019年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,675,133	2,161,300
売掛金	332,956	373,761
その他	92,087	120,437
貸倒引当金	△413	△285
流動資産合計	3,099,763	2,655,214
固定資産		
有形固定資産	187,939	196,547
無形固定資産		
のれん	7,838	7,216
ソフトウェア	313,231	332,000
ソフトウェア仮勘定	19,937	14,282
その他	889	883
無形固定資産合計	341,897	354,382
投資その他の資産		
保証金	259,097	262,061
繰延税金資産	57,626	45,056
その他	85,933	184,729
投資その他の資産合計	402,656	491,847
固定資産合計	932,494	1,042,776
資産合計	4,032,258	3,697,991

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,683	26,882
未払金	143,089	112,589
未払費用	75,776	50,515
未払法人税等	223,900	36,172
未払配当金	—	53,451
役員賞与引当金	36,638	—
解約調整引当金	13,524	13,774
株主優待引当金	13,844	258
その他の引当金	7,313	—
その他	137,050	152,963
流動負債合計	673,820	446,606
固定負債		
長期未払金	3,195	3,050
その他	7,179	4,766
固定負債合計	10,375	7,817
負債合計	684,195	454,423
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,319,154	1,319,154
資本剰余金	1,262,230	1,262,230
利益剰余金	766,132	661,637
自己株式	△157	△157
株主資本合計	3,347,359	3,242,864
新株予約権	702	702
純資産合計	3,348,062	3,243,567
負債純資産合計	4,032,258	3,697,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	853,685	973,648
売上原価	95,674	90,381
売上総利益	758,011	883,267
解約調整引当金繰入額	732	250
差引売上総利益	757,279	883,017
販売費及び一般管理費	640,592	774,541
営業利益	116,687	108,476
営業外収益		
受取利息	9	71
受取賃貸料	1,774	1,679
その他	124	5
営業外収益合計	1,908	1,756
営業外費用		
支払利息	35	35
賃貸収入原価	750	500
株式公開費用	20,722	—
その他	55	75
営業外費用合計	21,563	610
経常利益	97,031	109,621
特別損失		
固定資産除却損	—	3,770
特別損失合計	—	3,770
税金等調整前四半期純利益	97,031	105,851
法人税、住民税及び事業税	24,165	27,019
法人税等調整額	12,568	12,570
法人税等合計	36,733	39,589
四半期純利益	60,298	66,261
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,298	66,261



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	60,298	66,261
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	60,298	66,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,298	66,261

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。